

技の名匠 MAP

技の名匠 認定者一覧

| | | | | | |
|-----------|----|--------|------------------|----------------------------------|------------|
| 平成20年度 | 1 | 富田 篤 | 東京染小紋 | (株)富田染工芸 西早稲田3-6-14 | ☎3987-0701 |
| | 2 | 西澤 幸雄 | 東京手描友禅 | 引 退 | |
| | 3 | 青木 勉 | 製本 | 司製本(株) 東五軒町5-19 | ☎3260-2483 |
| | 4 | 兼平 欣治 | シール印刷 | 引 退 | |
| | 5 | 石田 毅司 | つまみかんざし製造 | イシダ商店 高田馬場4-23-28-401 | ☎3361-3083 |
| | 6 | 松田 義明 | 紳士服製造 | (株)テーラーマツダ 新宿6-16-22 | ☎3352-0008 |
| 平成21年度 | 7 | 飯島 武文 | 東京手描友禅 | 樺延工房 戸山2-33-1334 | ☎3203-8755 |
| | 8 | 石崎 直治 | 日本刺繍 | 引 退 | |
| | 9 | 高岡 昌生 | 活版印刷 | (有)嘉瑞工房 西五軒町11-1 | ☎3268-1961 |
| | 10 | 故市瀬 廣夫 | 帽子製造 | | |
| | 11 | 坂本 国雄 | 金属原型彫刻 | (株)SAKAMOTO 東横町12 | ☎3235-0226 |
| 平成22年度 | 12 | 伊藤 史安 | 管楽器修理(フルート) | 村松楽器販売(株) 西新宿8-11-1 | ☎3367-6000 |
| | 13 | 高橋 一郎 | 管楽器修理(管楽器全般) | 高橋管楽器 大久保2-16-33 高橋ビル1階 | ☎3209-7750 |
| | 14 | 熊崎 和人 | 東京手描友禅 | 熊崎工房 高田馬場4-27-15 エスカイヤ高田馬場402 | ☎3365-6610 |
| | 15 | 松田 光二 | 染色補正 | (有)松田 上落合2-21-25 | ☎3368-1594 |
| | 16 | 松本 義明 | 桐管笛製造 | (株)筆笛の松本 四谷2-10-6 | ☎3355-1151 |
| 平成23年度 | 17 | 石森 信二 | 管楽器製造 | (株)石森管楽器 百人町1-20-23 | ☎3360-4970 |
| | 18 | 山本 隆志 | 弦楽器製造 | 引 退 | |
| | 19 | 福室 隆一 | 無地染 | 福室染工場 中落合4-21-17 | ☎3953-6048 |
| | 20 | 真淵 貴昭 | 東京手描友禅 | 工房 貴美 中井2-21-26 | ☎3953-7675 |
| | 21 | 大橋 信彦 | 足袋製造 | (有)むさしや 四谷本塩町1-7 コート金井101 | ☎3351-7359 |
| 平成24年度 | 22 | 竹内 正治 | 和竿製造 | 引 退 | |
| | 23 | 故藤塚 勝栄 | 義肢・装具製造 | (有)藤塚製作所 上落合2-21-15 | ☎3362-0414 |
| | 24 | 故工藤 博 | 手描友禅 | | |
| | 25 | 砂川 裕孝 | 東京染小紋 | (株)松綱染工所 練馬区高松6-29-7 | ☎3925-6070 |
| | 26 | 鮎澤 剛 | 革製品製造 | 鮎藤革包堂 筑土八幡町5-12 SKビル | ☎3267-0409 |
| | 27 | 捧 恭子 | 婦人靴製造 | Belpasso(ベルパッソ) 神楽坂3-6 佐藤荘1階 | ☎5228-6528 |
| | 28 | 萩森 弥郁夫 | 管楽器修理(オーボエ・バスーン) | (株)ルボア 西新宿7-19-9 西新宿ビル | ☎5989-1157 |
| 令和元年度 | 29 | 大澤 学 | 東京手描友禅 | 東京手描友禅工房 協美 下落合4-6-17 | ☎3954-3331 |
| | 30 | 北川 幹雄 | 紋章上絵・染色補正 | (有)幾久清 早稲田鶴巻町521 | ☎3202-0964 |
| 平成25年度 | 31 | 多湖 朋 | 管楽器修理(管楽器全般) | (株)ダク 百人町2-8-9 | ☎3361-2211 |
| | 32 | 並木 良夫 | 表具 | 引 退 | |
| 平成26年度 | 33 | 渡邊 博之 | 製本 | (株)博勝堂 西五軒町9-1 | ☎3269-5248 |
| | 34 | 藤井 正 | 和食調理 | 退 職 | |
| | 35 | 井上 豪 | 和生菓子製造 | (資)梅花亭 神楽坂6-15 | ☎5228-0727 |
| | 36 | 吉澤 敏 | 湯のし | (有)吉澤湯のし加工所 上落合1-9-8 | ☎3368-2521 |
| | 37 | 田島 靖教 | 内装木質・アルミ建材等補修 | (株)バーンリペア 北山伏町1-11 牛込食糧ビル3階 | ☎5227-1390 |
| 平成27年度 | 38 | 水野 功一 | 畳製造 | 水野畳店 四谷本塩町1-5 | ☎3341-1760 |
| | 39 | 宇佐美 隆三 | 浸染 | 宇佐美捨染工所 北新宿4-25-13 | ☎5330-6816 |
| | 40 | 岡本 尚也 | 印章彫刻 | 岡本印房 住吉町1-10 J&E高田ビル1階 | ☎3353-2265 |
| | 41 | 佐々木 精一 | 活版印刷 | (有)佐々木活字店 横町75 | ☎3260-2471 |
| | 42 | 中村 博幸 | 引染 | ふじや染工房 高田馬場3-28-13 | ☎3368-8559 |
| 平成28年度 | 43 | 佐藤 順子 | 洋裁 | Jフローラ 富久町34-6 | ☎3357-7283 |
| | 44 | 高橋 俊隆 | 琴・三味線修理 | (有)高橋琴・三味線店 高田馬場1-31-8-109 | ☎3209-6531 |
| | 45 | 遠藤 興喜 | 手描友禅(金彩) | 藤工芸社 上落合1-7-12 | ☎3362-8874 |
| | 46 | 平林 隼人 | 手描染 | 染芸工房 隼人 弁天町4 | ☎3202-0653 |
| | 47 | 相田 茂 | 和生菓子製造 | (有)五十鈴 神楽坂5-34 | ☎3269-0081 |
| 平成29年度 | 48 | 常川 直喜 | 畳製造 | 高岡屋常川畳店 四谷4-18-2 | ☎3351-8611 |
| | 49 | 金田 朝政 | 東京染小紋 | (有)金田染工場 下落合1-14-4 | ☎3951-5703 |
| | 50 | 中村 隆敏 | 引染 | ふじや染工房 高田馬場3-28-13 | ☎3368-8559 |
| | 51 | 井上 正 | 製本 | 和光堂(株) 山吹町341 | ☎3260-7271 |
| | 52 | 小倉 隆 | 東京手描友禅 | (有)小倉染芸 高田馬場3-25-8 | ☎3361-2366 |
| 令和2年10月現在 | | | | | |

問い合わせ先：
新宿区文化観光産業部産業振興課 電話 03-3344-0701

令和2年度 新宿ものづくりマイスター

新宿区 技の名匠 紹介

新宿区では、区内の事業所でものづくり産業の同一業種に10年以上携わり、優れた技術・技能を有し、かつ後進の指導を行い他の模範となる方を「技の名匠」として認定しています



このロゴマークは『技の名匠』を表し、
新宿の「新」と新しい未来に向かう
「新」をイメージしています

新宿区

技の名匠及びロゴマークは新宿区の登録商標です



小倉隆

おぐら たかし

業 種 東京手描友禅
事業所 高田馬場3-25-8 (有)小倉染芸
電 話 03-3361-2366

昭和51年生まれ。創業約80年「小倉染芸」の3代目。平成17年より父・小倉貞右に師事し、東京手描友禅の製作に従事する。「お客様にとって良いもの、欲しいと思われるものを作りたい」との考えからオートクチュール指向をたいせつにしている。

その指向はデザインの構想からもうかがえる。旅先ではスケッチブックを持参し「とにかくたくさん描く」。しかし目指すのは単に写実性ではなく着物として身に着けたときの立体感。平面の反物に描く色や柄が身に着けたときどう映えるかを常に三次元

でイメージする。染料は120色近い原色から、作品の雰囲気、対象年齢などをくみ取って挿す色を作る。作品があっさりと見えるのは色の濃淡または同色の色調で細かく色を作るためである。

特筆すべきは独自の「写し糊糸目技法」。糸目糊は本来、隣同士の染料が混ざらないよう境界線として施すのが目的だが、糊に色(染料)を混ぜることで作品により深い色合いと格調が加わる。糊の線だけでも模様となり得るのは、直線・曲線いずれも細く美しく引ける高度な技術を有しているからに他ならない。また加飾としての刺繍に天然貝紫を使うこともあり、オートクチュールへのこだ

わりは仕上げにも見られる。

日本の友禅をモダンに見せる新たな境地も開いた。日本のアパレルブランドdivka(ディウカ)の2019年秋冬コレクションではデザイン”YUZEN”を提供。伝統的な友禅を世界に伝えている。現在、自宅の工房にて継続的に弟子を育成中。技術指導だけでなく作品展示や販売の場を与えるなど独立を見据えた指導を行い専門学校、美大生の工房見学やインターンも受け入れている。平成30年には経済産業省指定の「東京手描友禅」伝統工芸士に認定された。

● 写し糊糸目技法 ●



←染料を混ぜた糊を手製の筒で糸のように細く絞る。



↑直線も曲線も途切れず同じ細さになるように置くことで美しい仕上がりとなる。



←糊置きだけで十分に美しい。技術の高さがうかがえる。

染名古屋帯 動物の行進



動物の単体スケッチから「行進」を思いついた。

染名古屋帯 彩華更紗紋



アラベスク調のデザインも好んで使う。糊置ききの線が見事な作品。

染名古屋帯 菱取正倉院華紋



複数の同モチーフを手描きで挿すのは技術の見せどころ。中心の十字には部分的に天然貝紫(かいむらさき)の刺繍を入れた。

divka(ディウカ)に提供したデザイン”YUZEN”



左の「彩華更紗紋」を大胆に使っている。

◆ 東京手描友禅の一般的な製造工程 ◆

1800年代、江戸時代末期に神田周辺で大名お抱えの染師による江戸友禅が誕生し、明治以降には今の高田馬場、中井、落合周辺の神田川沿いでもきれいな水のあることからその意匠が継承された。東京手描友禅はその工程の殆どを一人の職人が担うため、大量生産とは異なる手作りの魅力をもっている。

構図・下絵



完成をイメージしながら下絵を描く。

糸目糊置き



色を挿すとき隣同士の色が混ざらないように糊を置く。

友禅挿し



染料で模様に入色を入れる。

引 染



幅広の刷毛で地色を染める。模様の部分には地色が入らないように伏せ糊をしておく。

蒸 し



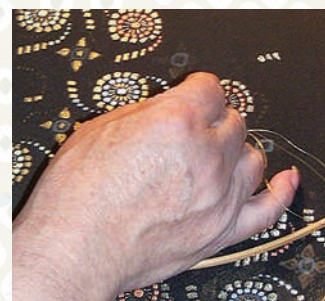
「蒸し箱」の中で高温で蒸し、色を着させる。このあと水洗いする。

湯のし



専用の機械を動かして反物を進め、蒸気の量を見極めながら反物の幅を均一に整え、しわを伸ばす。

仕上げ(加工)



友禅を挿したところへ、刺繍や金彩でアクセントを加える。

